



週)報

2013~2014年度))) R I会長)ロン)D・バートン)
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 964 回(9 月 24 日)例会の記録

点 鐘 栗原憲司会長
合 唱 手に手つないで
第 2 副 S A A 田中(隆)君、田中(八)君
卓話講師 米山記念奨学学友会
会長 誉 林 青 容 様

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34 名	28 名	80.65%	86.67%

会長の時間

栗原(憲)会長

「狭山市史現代資料編」に掲載されている、父の青年団の研究発表(昭和 13 年)の記事の紹介をさせていただきます。

人間郡青年団入間川支部代表栗原要重氏の実験
燃料国策の線に沿ひ真摯な研究実験人間郡青年が発表
東京朝日 昭和 13 年 4 月



12 日

人間郡青年団の定期総会は 10 日所沢町商業学校に開催、予、決算を審議後、結局決議をした後日本連合青年団の秋山主事を審判長に、「農村副業による緬羊飼育について」鶴ヶ島内野亀吉君、「先づ現在に生きよ」豊岡町繁田善一君、「我が家の養豚に就て」大井村西山茂治君、「牛蒡の栽培に就て」松井村斎藤三男君、「人絹×切緋に就て」元加治村高橋勇治君、「籾殻の利用法に就て」入間村栗原要重君、「人参の栽培法」日東村宮田栄吉君、各々の演題の下に支部対抗の団員研究発表会を開いた結果、入賞者は

- 一等 栗原要重君(入間川支部代表選手)
- 二等 高橋勇治君(飯能支部同)
- 三等 西山茂治君(鶴瀬支部同)
- 四等 繁田善一君(豊岡支部同)
- 五等 富田栄吉君(中部支部同)

が決定された。発表内容は何れも従来の青年雄弁会式な単なる口先論でなく、非常時局を背負って

立つ可き青年が燃えるが如き研究心を傾け、苦心から割出された一種の実際的な発明考案で心強い感銘を与へた。特に一等に入選の入間村栗原君の研究大様は、【現在農家が棄てる始末にも困却している籾殻を焼きこれを材料に粘着力のある餛飩の揚げ湯でこねて、これ又廃物の茶筒、罐詰めの空罐等を利用、無臭無毒、そして火持ち良く女子供にも手軽に出来る籾殻練炭を昨秋考案した】といふ。僅 20 歳の青年が農家の燃料経済に一大改革をもたらし、国家燃料経済論にも一矢示唆を与へ、(中略)国家的な問題を解決したものだ。もみがら練炭製造についての栗原要重氏研究
意外の廃物で練炭製造の研究

埼玉県連合青年団 栗原要重
大正 8 年 6 月 20 日生

「燃える籾殻」

埼玉県人間郡入間村は、埼玉県の南部、所沢の東北にあたる農村であって、米、麦、蔬菜の外、この辺一帯に産する茶は狭山茶として知られ、また養蚕もひろく行はれて、農家経営は次第に多角的に行はれている。

昭和 12 年、まだ青年学校の生徒である栗原要重君もまた、学校で先生から農業は多角的に行はれなければならぬことを教へられ、その秋、副業として養鶏を試みた。

「鶏は有利だぞ。僕は断然養鶏だ。」
さう言つて力みながら試みた養鶏であったが、さてその結果は予想のうやうな収益はあがって来なかった。雛鶏を育成するためには適当な温度を保つことを必要とする。温度を保つには木炭を必要とする。その木炭の値段が事変の影響や何かで、うなぎのぼりぐんぐん昇つて行つた。要重君の予算は燃料価格の査定の破綻から、すっかり狂つてしまつたのである。

「何とか燃料の費用を切下げの方法はあるまいか。」

「何かもっと安い燃料はないだらうか。」
要重君の頭の中には、夜も昼もそのこと許りがこびりついていた。だが木炭よりも有利な燃料はなかなか見付からなかった。

今日も、やはりそのことを考へながら、茫然と裏の瀬戸口に立っている要重君の目の前では、焼ぬかが真赤な色をして焼けていた。焼ぬかといふのは、初殻をくすべて燻炭にしたもので、これを養蚕の時に用ふるのであるが、誰が火をつけたのかその焼ぬかがいま見事な色をして火照っているのであった。

要重君のうつろな眼が、忽ちらんらんと輝いて来た。それはニュートンの眼の前にリングが落ちた瞬間と同じであった。

「これだ、これだ。これをうまく固めればきっと、安くていい炭の代用品が出来ると違ひない。」

「代用品時代、代用品時代。」

第一章 昭和初期の町と村

その思ひつきに自分で感心し、自分で語りながら、要重君は早速、初殻を利用して練炭を造る工夫をはじめた。

勿論、はじめのうちは度々の失敗もあったけれども、大体に於ては研究の過程はすこぶる順調であった

人間郡青年団の定期総会に於て行はれた支部対抗の団員研究発表会の席上で、「初殻の利用法に就いて」という題目の下に発表された要重君の研究発表は見事に一等を占めることが出来た。

製造の方法

次に初殻練炭の製法を簡単に紹介すると、大体次のごとくである（初殻二斗を標準として）。

（イ）焼き方

養蚕用の焼ぬかをつくるときに用ふる初焼をそのままに利用して、初殻に真黒になるまで焼く。即ち燻炭にするのである。

（ロ）捏ね方

次にその燻炭を捏ねる。その燻炭の捏ね方に要重君の工夫があるのであって、最初は水で試みたが固まらず、餛飩の茹湯（揚湯）を用ひて成功した。或いはまた小麦初二分を水二升の中に入れ、煮立て薄糊湯としたものを用ひてもよい。ともかく、燻炭を桶またはバケツ等の容器に入れ、それに茹湯を加へて、よくかきまぜながら、それが握れる程度のものにする。

（ハ）固め方

豆炭を造る場合には、ただ握飯をにぎるような具合にして握ればよい。練炭にする場合には、茶筒または空罎を用ひ、口を切り底を取去り 56 本の細い竹を立てておいて、その中によく捏ねた焼殻を詰め込む。よく詰め込んでから、先づ静かに竹を抜き、罎をとり除くと、普通の練炭とおなじ形のものが出来あがる。

（ニ）乾燥

日向にほすか、風通しのよい所に置くかしておけば、45 日の後には十分に乾燥して、重量ももとの半分に減ずる。軽い練炭が出来あがるのである。以上で初殻練炭が出来るのであるが、初殻二斗を標準にすると、その所要時間は、焼くに 30 分、冷却に 2 分、捏ねるに 5 分。また分量は大体、焼殻

にした時が一斗五升位、捏ね上りが一斗位である。捏ねる時に加へる茹湯は、五升位が適当である。

徹底した廃物利用

現在一般農家に於ては、初殻は始末にこまる厄介物であった。堆肥にもならず、といて、散らばるので矢鱈に棄てることも出来ない。その厄介物がすばらしい練炭になるといふのであるからこんな嬉しい廃物利用ははいのであるが、要重君のこの研究は、この主要材料が廃物利用である許りでなく、その他、副材料から、道具にいたるまで、すべてが徹底した廃物利用である。

捏ねる時に加へる餛飩茹湯も、精々活用して養豚の飼料ぐらひにしかならぬ廃物であるし、固める時に用ひる茶筒も、壊れた茶筒で立派に役に立つし、焼く時に用ひる初殻も、養蚕用のものを一寸拝借するのである。

従って、その生産費はすこぶる安価であるが、しかもその火力や火持は決して普通練炭や木炭におとるところはない。この初殻練炭と普通練炭及び木炭とを比較すると次の表のごとくなるのである。

種類	初殻豆炭	三寸初殻練炭	四寸初殻練炭	三寸普通練炭	木炭(百匁)
重量	10 匁	70 匁	100 匁	170 匁	100 匁
価格	8 毛	4 厘	8 厘	3 銭	1.5 銭
火付き	5 分	5 分	7 分	15 分	10 分
火持ち	1 時間	3 時間	5 時間	5 時間	2 時間
火力 水二升到付		10 分	7 分	10 分	20 分
火力 米二合に付		15 分	10 分	15 分	25 分

即ち、初殻練炭の生産費は、初殻二斗二銭、餛飩の茹湯三升二銭、汁十銭、それで約 10 個の三寸練炭が出来るので、1 個当たり 4 厘となるのであるが、事實は初殻や餛飩の茹湯は全然の廃物として存している場合が多いので、その場合には必要なるものは労力だけである。こんな安いものはないのである。

初殻練炭の特長

これを要するには、初殻練炭の特長として次のやうな点を数へることが出来る。

1. 徹底したる廃物利用によるが故に、その経費はきわめて僅少であること。
2. 製造方法簡単にして、女子子供にも出来ること。
3. 相当の火力を有すること。
4. 炭のやうにはねることなく、練炭のやうに悪臭を放たず、火まわりが平らかであること。
5. 火持ちも相当によいこと。
6. 比較的軽くして持ち運びに便利であること。
7. 焼いた後の炭は肥料となること。

これほど重宝なものを僅か 19 歳の少年が工夫したとは、実におどろくの外はない。廃物利用であるから、すぐに大量生産にまで進むことは出来な

いであらうが、各農家が冬の農閑期を利用してこの粕殻練炭をつくるやうになれば、農家経営の方から言えば、燃料の自給自足策を立てることになり、国家経済の上から見れば、木炭や練炭の大きな節約となって、燃料国策の一線に沿ふ所以ともなるのである。

幹事報告

宮野幹事

(定例理事会)次の件が審議・承認されました。

- (1) 10・11月プログラム承認
 - (2) 家族同伴親睦旅行 11月12～13日
 - (3) 会員拡大について 入会金検討
 - (4) R財団、夢計画
社会奉仕、青少年奉仕で検討
1. 2012～2013年度国際ロータリー第2570地区収支計算書について
 2. 米山月間に向けて、豆辞典配布
 3. 青少年育成のためのボーイスカウト運動への支援依頼について
 4. 受贈会報
所沢RC 所沢西RC 所沢東RC

委員会報告

親睦活動)))))))))小島委員長)

11月12日、13日に家族同伴の親睦旅行を計画しております。行き先は群馬県四万温泉を予定しております。是非とも多数の方のご参加を宜しくお願い致します。

それに関連致しまして、来月8日、例会終了後に東武サロンで親睦の炉辺会議を行いたいと思っておりますので、お時間の方、宜しくお願い致します。

社会奉仕)))))))))佐藤委員長)

フリーマーケットの品物ですが、大分集まって来ましたが、もう少し皆様のご協力を、よろしくお願い致します。



「外来卓話」・・・・・・・・

米山記念奨学学友会
会長 譽 林 青 容 様



まずは私の名前から、私は奨学生のときは「ミス・リンセイヨウ」です。お陰様で「センさん」という方がもらってくれましたので、主人がいるところでは「ミセス・セン」です。主人も同じロータリーの学友です。奨学生同士でカップルになったのは私と主人が初めてです。

数十年前のロータリーの友の中に、その時の私が写っております。とても自分とは思えませんが、興味がありましたら、調べてみて下さい。

センという文字は日本の常用漢字にはなく、「譽」と間違えられ、お陰様で日本国籍を頂くときにお許しがあり、誉めて頂けるような自分を目指して、この文字を使わせて頂きました。日本語の非常に有り難い所は、どんな字を書いても、好きな読み方をさせて頂けるということ、そのまま「譽・セイ」と読ませて頂きました。

実は私、「林青容」の時は、自分としては、花のようなイメージをしておりましたので、芙蓉の「蓉」を思っておりましたが、なんとその当時は常用漢字にないといわれて、頭をカットされました。その時から、頭が悪いのはそのせいですと言っております。社会的にはほとんど「林さん」と言われ、可愛がって頂きました。皆さんご自由に、主人がいなくてもできれば「林さん」でお願い致します。「譽さん」と呼ばれても、未だにどうしても素直に返事が出来ません。

日本は未だに夫婦別姓は許されていないようですが、私の母の年代は、必ず結婚すると夫の名前を頭にのせておりました。本当は「譽・林・青容」なのですが、日本では「譽・林青容」となっております。

1972年、日本、台湾、非常に私にとって歴史上、国の歴史としても、私個人の歴史としても、大変ありがたい記念日です。当時大学一年生の私が、日本語を勉強し始めたところで、本当の出会いで、日本大使館に務めている先生の奥様に、赤ちゃんを抱きながら「あいうえお」の勉強をして頂きました。

この当時留学するという事は、大学を卒業し、男性の場合は軍役を終えて、アメリカの大学院等

に行くというようなことでなければ、とてもパスポートの申請が出来ない時代でした。私の父は材木商でしたが、日本にヒノキを輸出していても、日本の商社マンが台湾に来て、父がパスポートを持って日本に出張ということも許されない時代です。

ある日その先生が、大学を卒業して、医者や薬剤師、会計士のような日本に留学に行く、そしてしかも日本の大学からはほぼ入学許可を貰っている方々のために、慶応大学の願書をもって説明していたのを、私は赤ちゃんと遊びながらそばで聞いておりました。すると先生が私を無視するのは悪いと思ったのか「やってみる？」と聞いて下さったので、「はい」と返事をし、家に帰りました。そして「お父さん、私は日本に留学に行きます。」と言ったところ、父は「行けるものなら行きなさい」と言いました。

当時の私は、非常に不良少女でした。その理由は、生まれつきに内臓は不良品だらけでした。父と母の悪い遺伝子をしっかりと受け継ぎ、いつも体調不良な私でしたので、父は行けるものなら行けと言ったのでしょう。小さい時から父は常に、「俺は勉強したい奴は、男でも女でも応援するぞ」と言っておりました。中国はご存知の通り、男を非常に大切にします。姉がおりましたが、姉は非常に頭が良く、美人で、今もスーパーウーマンのように活躍しております。私の下に弟がおりますが、初めての息子であって、2番目の私は病弱で泣き虫で、とにかく学校へ行って朝礼が終わると、大体病院へ運ばれる、電車に乗っていると、気が付けば病院にいるといった不良少女でした。そんな私でしたので、父は「行けるものなら行け」と言い、なんと私は慶応大学の入学許可を頂き、それを持ってパスポートの申請に行き、パスポートを取得しました。

父に「日本に留学に行きます！」と言ったところ、「何しに行くの？」と、しかも日本の商社マンは朝日新聞を持ってくると、「六大大学はストライキだ。日本人の学生だって勉強をしていない。お嬢さんは何をしに行くのか？」という時代でした。

最初は日本の漢字をバカにしておりました。しかし、日本の和製漢字の使い方に非常にひかれて、今は遊び研究として、和製漢字と中国の漢字の比較をしております。

「命運」「運命」というように、逆の使い方をしている漢字が良くあります。大変興味があります。

先ほどお話したように、あの荒波のような時代に飛び込んで、私の高校と大学の友人からは、「林さんは占い師に占ってもらい、日本に行かされた」と言われております。なぜかという、突如私は豹変するように、大学も退学して、日本へ行くと喚き、家出をし、3ヶ月革命を起こしましたからです。その時母が、一度も自分の意見を言ったことが無い子が、何故こんなになってしまったのかと不安になり、お寺や占い師の所で私の運命・命

運を見てきました。どこのお寺に行ってもおみくじを引いておりましたが、日本に留学させなければくるとしてしまおうと母が私の味方をしてくれまして、私はお嬢さんの5人いる父の親友に泣いて、父が反対した理由を理路整然に説明致しました。そうしましたら父の親友は、「もし行かせてないのなら、私が6番目の娘として行かせるぞ」と言ってくれ、父から飛行機代、学費、一月の生活費だけ出すという条件で11月22日、羽田空港へ到着致しました。

今の私が縦も横も成長したのは、出会いです。運命、命を動かすように、動かされるように、宿命ではなく、自分の命を動かす、これが出会いだと思います。

昭和47年11月に日本へ来まして、慶応大学に行きましたが、3ヶ月何の連絡もせず革命を起こしていたもので、なんと除名されておりました。そのため当時一番学費が安かった明治大学に、教授に慶応大学だったでしょ？といじめられながら合格致しました。

大学一年の時に、私の実家の宜蘭ロータリークラブと姉妹クラブというご縁で、朝霞ロータリークラブに、当時東大の博士課程の先輩が奨学生としてお世話になっておりました。宜蘭ロータリークラブが訪問ということで、その役として遊びに行きました。

今日もお弁当を頂きながら思いましたが、例会のお弁当は特別にお腹も胸も一杯になります。1ドル320円程度の時代で、父からは学費は出してもらっており、他の留学生よりも恵まれてはおりましたが、生活費が本当に大変でした。日本へ来て1週間で、先輩の紹介でアルバイトを始めました。池袋の東方会館で、バイキングのレジをしました。「いらっしゃいませ」と「1人1800円」、「ありがとうございます」という3つの言葉でアルバイトをしておりました。日本では食の神様に非常に恵まれ、バイキングの残りものを頂いて帰り、先輩たちと一緒に食べておりました。そしてロータリークラブとの出会いで、ほぼ月に2~3度はお弁当を頂きました。このように成長できたのは、ロータリアンたちのエネルギーとしか言いようがありません。

あの時代は本当に私にとって何が苦しいかと言いますと、日本の高度成長期、女性は皆春を売っていると、台湾へ春を買いに行っていました。なぜ春を買いに行くのだらうと思っておりましたが、女性を見るとこの食い気しない私でも、どうも異様に感じました。しかし一番安心できたのはロータリアンの方たちでした。その時私は、台湾からの展示会や広告業界の仕事とプチ労働者でした。すると広告業界の方たちは芸者遊びに、プレイボーイクラブ、そうした色々な所を経験させてくれました。しかしそうした所に行くと、何か目線が違ってくるのです。世間は台湾から来たということ、すぐに目線が変わる、そんな時代でした。その時

代の中で、ロータリークラブのおじ様たちは父親のように、そしてその奥様は母親のように、温かい物を与えてくれ、ここが本当の私の憧れの日本人がいるのだと思いました。世間では仕事先に行くと、私に色目を使う人もいました。

お陰様で、アルコールが入るとますます頭が冴え、シャンとしてきました。恐らく無意識の自衛です。私の修士論文は、全てアルコール漬けです。私は今まで一度も酔ったことがありません。全て飲み物として頂きますので、私に高いお酒を勧めることは勿体ないです。唯一お酒として Enjoy できるのは、ヘレスのブランデーです。

私は小さい時に胃潰瘍になり、父が舶来品のヘレスのブランデーを港から買ってきて、杯に入れて、胃に良いからと渡してきました。口にブランデーを含むと、子供ですから、口で転がしていると流れていき、すると温かく感じて眠れるのです。今はブランデーだけはお酒として認めます。日本に来て初めて商社のおじさんが横浜を案内してくれたときに、昼間レストランに入って、水割りを注文しました。私は水割りの水(water)という言葉はわかったので「飲みたい」と言いました。色は薄くて判別できませんし、おいしくて一気に3杯飲みました。あの当時の水割りは大変なものだったようで、後日父から「人前でお酒を飲むな」と言われましたが、私自身は、いつ飲んだのか記憶にありませんでした。

明治大学に入学しますと、新入生の歓迎会は全てビールと日本酒でした。女性は私一人でしたので、次々と列を作ってきます。そこから、飲み物として全員を倒し、全員の面倒を看ました。今も先輩たちは飲むと私にガードウーマンとして声を掛けてきます。

台湾の米山の先輩たち、学友たちは、台湾に帰り、台湾の学友会を早々と設立させ、政府の認可もとりました。そして今なんと、日本の米山奨学金を真似して台湾で米山奨学金をつくり、カウンセラー等日本と同じようなシステムで日本の留学生(5人目)を受け入れております。

私も北京大会の時に、主人と出席して来ました。私たち学友会は、各分野、自分の研究の発表等のフォーラム、要するに情報交換、交流の場となっています。

それで私が初代の、会長を務めさせて頂いております。名前ばかりですが、私自身は自分のエネルギーをすべて後輩たちに伝えていければと思います。私にとって、本当に生活という文字は、生かされ活かす、私の生活は日本にきて見事選んでもらい、活かされています。

私は恵まれている方ですが、今の留学生、台湾の留学生は割と人懐っこいですが、中国の留学生はIQは皆素晴らしいのですが、EQが私もため息が出るくらいでした。そうすると日本のロータリアンと接することがよくわからないのです。日本人の考えていることもわからず、知識や学問、本

での勉強はできますが、しかし実際人とのふれあいは本当に、かわいそうな位にできないのです。中国の留学生と話をすると、もっとチャンスがあれば中国は変わるのではないかと思います。

今の時代、政府、国、政治家たちは、自分のステージで色々な事件を捉えています。

しかし個人一人一人接すると全然違います。本当にわずかなマスコミのために、色々な感情を煽られています。今一番活躍するのは、日本に留学している学生たちです。個人になると、本当に日本はおもてなしの心や、奉仕の精神があふれていると感じています。

私は、日本人は本当に人間の温かい部分を持ち合わせていると思いますが、持ち合わせていない国・民族に、米山奨学金という寄付を通して、学がくゆうで頂ければと思っております。念じるという字は今の心と書きます。常にこの今の心が皆さんに伝わればと思っております。宜しくお願い致します。

日本国内の学友会(30 団体)

名称	対象地域
北海道	北海道
2520	岩手県・宮城県
2530	福島県
2450	秋田県
2550	栃木県
2560	新潟県
2790	千葉県
2800	山形県
2820	茨城県
2830	青森県
2840	銀負けん
2570	埼玉県西部
東京	東京都
2590	神奈川県(川崎市・横浜市)
2600	長野県
2610	富山県・石川県
2770	埼玉県東部
2780	神奈川県(川崎市・横浜市以外)
2620	山梨県・静岡県
2630	岐阜県・三重県
2640	和歌山県・大阪府大和川以南 (柏原市を含まない地区)
京都	京都府・福井県・滋賀県・奈良県
関西	大阪府大和川以南 (柏原市を含む地区)
2680	兵庫県
2690	鳥取県・島根県・岡山県
2760	愛知県
2670	徳島県・香川県・愛媛県・高知県
2710	広島県・山口県
九州	福岡県・佐賀県・長崎県 大分県・熊本県
2730	宮崎県・鹿児島県

海外学友会(4団体)

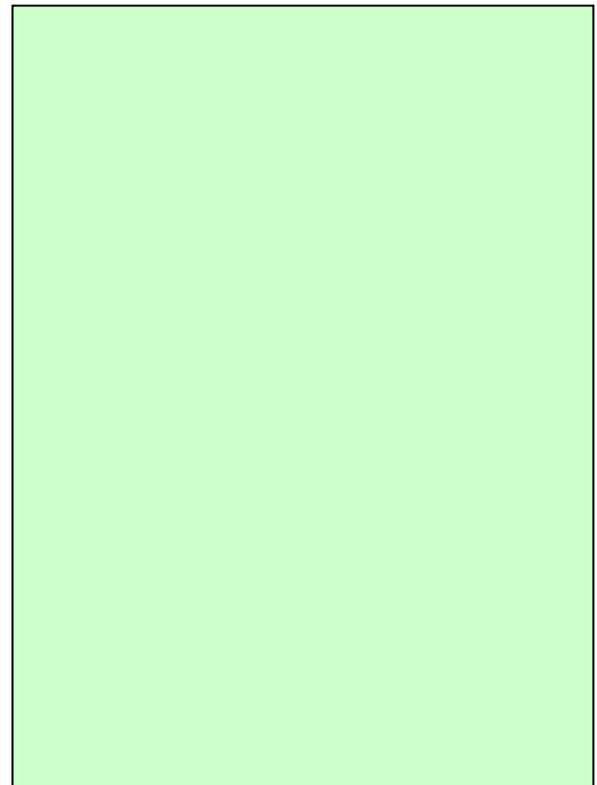
名称	対象地域
韓国学友会	韓国全土
(社)中華民国扶輪米山会 (台湾学友会)	台湾全土 (北部 / 中部 / 南部の3 部構成)
中国学友会	中国全土(華北 / 上海 の2分会構成)
タイ学友会	タイ全土

誉林青容様より、フリーマーケット用として、中国のお茶等を沢山ご提供頂きました。



- 誉林青容様(米山記念奨学学友会会長)
喜び感謝の念を伝えることを、伝えるように今の心を奉げます。
- 栗原(憲)君 米山記念奨学学友会会長 誉林青容様、ようこそお出で下さいました。卓話よろしくお願い致します。
- 宮野君 米山記念奨学学友会会長 誉林青容様、本日はお忙しい中ありがとうございます。卓話楽しみにしています。
- 東 君 先週土曜日、R I 2570 地区青少年奉仕セミナーに出席して参りました。高校生の発表を含め 100 名ほどの参加でしたが、とても刺激になり、多くの方々と交流が持てました。ありがとうございました。
- 江原君 米山学友会会長誉林青容様、本日はお忙しい中お出で頂きまして、本当にありがとうございます。卓話楽しみにしております。何卒よろしくお願い申し上げます。
- 稲見君 米山奨学学友会会長誉林青容さん、今日は狭山中央RCにようこそ！お話し楽しみです。
- 守屋君 林青容様、ようこそ。お話しを楽しみにしております。
- 中谷君 米山記念奨学学友会会長誉林青容様、本日はようこそお出で頂きました。先程、お話しを聞きますと、台湾の実家が私と同業の材木屋さんだそうで、今日の卓話よろしくお願い致します。

- 小幡君 先日はパスト会長の時間に卓話させて頂きありがとうございました。
- 柴田君 勝手ながら早退します。
- 高田君 米山奨学学友会会長のセン様、今日はありがとうございます。卓話よろしくお願い致します。



次の例会

第2副SAA 吉松君 東君

10月8日(火) 12:30~13:30

外来卓話

大生病院 業務連携室
室長 中村様